

名家連ニュース

令和元年8月16日(金)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX (052) 846-5576 NO. 638号

◆ 第2回 名古屋市障害者団体連絡会審議概要 ◆

◎ 名古屋市国際展示館場新第1展示館整備事業について



《事業概要》 所有権は名古屋市。設計・建設、施設(期間3年3カ月)及び維持管理・保全(維持管理期間20年間)は民間事業者。事業期間は契約締結日から令和23年3月。供用開始予定令和4年10月。事業契約社は「株式会社名古屋モノづくりメッセ(SPC)」。平成31年3月6日の議決をもって事業契約を正式に締結(名古屋市ホームページ抜粋)。

《事業場所》 名古屋市港区金城ふ頭2丁目ほか(名古屋市ホームページ抜粋)。

《提案概要》 地上3階。展示会・見本市(2万平方メートルの無柱空間の展示場、可動式分割利用可)、コンサート・スポーツ施設(アリーナ収容規模1万5千人、高さ20メートルの大空間)。第1展示館(展示面積13,870平方メートル)、第2展示館(6,576平方メートル)、第3展示館(13,500平方メートル)から構成される展示面積約34,000平方メートルの全国有数のコンベンション施設です。

《意見集約》平成元年8月30日 E-maila3168@kankobunkakoryu.sity.nagoya.lg.jp FAX 052-972-4201

◎ 平成元年度 油圧式エレベーターの更新について

《更新駅及び工事期間》 中村区役所駅1台(平成元年10/18～11/28)、丸の内駅2台(令和2年1/9～2/13、1/15～2/20)、吹上駅2台(令和元年10/3～11/7、令和元年11/8～12/18)

◎ 金山駅トイレリニューアル工事について

《不利用期間》 令和元年9月下旬～令和2年3月下旬(予定)

◎ 「AIOIYAMA」プロジェクト(緑地計画) 第2回意見交換会 令和元年5月から順次開催

◎ 久屋大通公園(北エリア・テレビ塔エリア)の再整備について

《バリアフリー》 もちのき広場にエレベーター、エスカレーター新設。桜通北側にエレベーター新設。公園出入口及び園路、アーバンリゾートの森ゾーンの南北方向の段差をなくす。

《公衆トイレ》 北エリア・テレビ塔エリアに公衆トイレ(多機能トイレ含む)各1か所整備。

福祉特別乗車券一斉更新の概要(案)

〔有効期限が終了する令和3年10月31日をもって一斉更新する〕

《更新方法》 新しい IC 乗車券を一斉に郵送。後日、旧券を持参し区役所に返還（返信封筒で郵送返還）する。旧券にチャージ（入金）した SF(現金)は、新券で利用不可。SF を使い切ってから返還する。

《意見集約》 Email a2587@kennkofukushi.city.nagoya.lg.jp FAX 052-951-3999

障害者手帳のカード化について

《カード化への動き》 平成 30 年 10 月 24 日の社会保障審議会障害者部会で「健康保険証のカード化などの時代の流れやマイナンバーカード制度により必要な情報を効率的に取得できる環境が整いつつあることから、自治体の選択により、カード化を可能」とする方向を確認。平成 31 年 4 月 1 日付で規則改正が施行。同日以降、カード化が可能となった。

《名古屋市の課題整理》 IC カード化の是非、未実施自治体との転入・転出対応、料金割引制度の円滑な実施、手帳とカードの選択制に関する周知、手帳事務手続きの共通化、作成・交付事務量の把握…等。

障害者基礎調査の概要(案)

《趣旨》 市内障害者の状況把握及び第 6 期名古屋市障害者福祉計画の策定など今後の障害者福祉施策の基礎資料とするため、「障害者基礎調査」を実施するもの。

《調査機関》 令和元年 10 月 7 日（月）～10 月 25 日（金）

《調査対象者》



身体障害者(1～6級)	8,000人	手帳所持者から無作為抽出
知的障害者(1～4度)	2,000人	手帳所持者から無作為抽出
精神障害者(1～3級)	2,500人	ICD-10の大分類で区分し人数に応じた比率数を無作為抽出
発達障害者	400人	関係施設・関係団体等に協力依頼
高次脳機能障害者	400人	関係施設・関係団体等に協力依頼
難病などの方	2000人	特定医療費助成制度受給者から無作為抽出

《調査方法》 郵送法

障害福祉サービス等利用者調査の概要(案)

《趣旨》 市内の障害福祉サービス利用者の状況把握及び第 6 期名古屋市障害者福祉計画の策定など今後の障害者福祉施策の基礎資料とする。

《調査機関》 令和元年 10 月 7 日（月）～10 月 25 日（金）

《調査対象者》 福祉サービス利用者 約 2,800 人



対象	人数	調査方法
在宅サービス利用者	抽出で 約 800 人	調査票を対象者へ郵送
通所施設利用者	抽出で 約 1,000 人	通所施設の協力を得て利用者へ調査票を配布
入所施設利用者	全件調査約 1,000 人	入所施設の協力を得て利用者へ調査票を配布 聞き取りが可能な場合は入所者本人から聞き取り調査実施